

# 「那賀川の日」なかがわ探検バスツアーを開催

那賀川流域において、那賀川の日（平成25年8月6日（火曜日））にあわせて「ゆきかう那賀川推進会議」主催「那賀川アフターフォーラム」共催による『なかがわ探検バスツアー』が開催され33名の那賀川流域内の子供たちの参加をいただきました。

※『那賀川の日』とは？

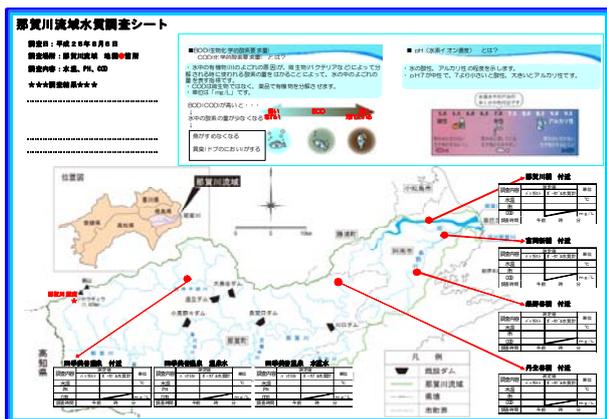
「那賀川が阿波の八郎（86）」という愛称で呼ばれていることから、8月6日を『那賀川の日』とし、川に親しみを持ってもらえるイベントを企画していくことが、「ゆきかう那賀川推進会議」で決まりました。



那賀川探検バスツアーでは、那賀川流域内に住む子供達の上下流交流を行いながら、那賀川に触れ、親しみを持ってもらうことを目的に、徳島県が準備したバスを利用し下記行程で実施しました。



四季美谷温泉（那賀町：ダム上流）では、河原に降りて水生生物調査・水質調査を行い川の生き物・水質パックテスト等で水質の判定を行っていただきました。また、移動中にスタッフが測定した水質調査結果を記録してもらい流域全体の水質に関することを学んでいただきました。



水生生物調査後は、広間にて阿南市特産品でもあります活竹人形（阿波踊り）作りの体験を阿南市竹人形伝承会の講師4名を招き、古くから伝わる伝統工芸についても学んでいただきました。



※活竹人形に使用される竹は、那賀川流域（加茂地区）に生える五三竹も使用されています。

昼食後、バスにより長安口ダムまで移動し「ダム操作室」「ダム監査路」「改造工事現場」など、普段の生活では入ることはできないダム内部を見学していただきダムの役割等について学んでいただきました。



最後に、那賀川の水を利用している大塚製薬工場（カロリーメイト工場）を見学してもらいました。



参加者からは、「身近な川がきれいだと分かってうれしかった」「普段見ることがない物がたくさん見ることができ良かった」また、保護者の方からも「当日の夜、バスツアーについて、楽しかったのか、いろいろ話をしてもらって非常に良かった。」等の意見をいただきました。

来年度以降もイベントを継続することで、那賀川の上下流交流、那賀川の各地点での役割の違いに触れていただくことで那賀川に関する関心を高めるように努めていきたいと思っています。